

令和5年受験 2級建築士 中期学科合格必勝コース 日程表 (3月開講)

■新傾向対策講座【通学映像&e講義】R4年10月以降随時視聴可 独学では難しい、国の施策や法改正からの出題が予想される新規項目について学習する。

単位	日程	内容
1 1	- 1.5時間	持続可能な社会と建築技術、最新の法改正等

■建築施工実務講座【通学映像&e講義】随時視聴可 建築現場映像により視覚的にイメージでき、工事の流れ・手順・専門用語を理解しやすくする。

単位	日程	内容
2 1	- 5時間	①鉄骨建物はこうしてできる-工事の流れ- ②土・山留め工事編 ③場所打ちコンクリート杭工事編 ④鉄筋工事編 ⑤型枠工事編 ⑥コンクリート工事編 ⑦家はこうしてできる-木造軸組工法- 特別編1 工事の流れ-共同住宅(RC造)ができるまで- 特別編2 工事の流れ-事務所、専用住宅(RC造)ができるまで-

■必修項目習得講座【通学映像&e講義】随時視聴可 各科目の学習の土台として必要となる基礎知識や計算方法を学習する。

単位	日程 4回 16時間	内容
3 1	- 4時間	学科Ⅰ(建築計画) ①気候/空気 ②熱/光 ③空気調和設備/給水設備/排水設備
4 2	- 4時間	学科Ⅱ(建築法規) ①序章/用語の定義 ②確認申請/面積・高さ等の算定/天井高/階段 ③建蔽率/容積率/建築士法
5 3	- 4時間	学科Ⅲ(建築構造) ①学科Ⅲの概要/力 ②力の合成と分解/力のつり合い/構造物に働く力(荷重) ③反力
6 4	- 4時間	学科Ⅳ(建築施工) ①学科Ⅳの概要/施工計画/管理計画/仮設工事 ②鉄筋工事 ③型枠工事/コンクリート工事

■合格力養成基礎講座【通学映像】 短期必修学科講座までに必要な予習学習の内容と進め方を学ぶ。各科目について、まずクリアしておくべき頻出内容について正しく理解することで、短期間で効率よく合格力を高められるようにする。

単位	日程(令和5年) 4回 16時間	内容
7 1	3/19(日) 3/22(水) 14:00~19:00	【合格必勝ガイダンス】 短期必修学科講座開講までに必要な予習学習の内容と学習の進め方 【法規導入講義】法令集を引くコツを掴み、問題が独力で解けるようになるテクニックを習得する。 ①用語の定義、敷地等と道路/②確認申請、内装制限/③建蔽率、容積率
8 2	3/26(日) 3/29(水) 14:00~18:30	【学科Ⅲ(建築構造)】 つり合い条件式を使った計算ができるようになる。 ①反力/②応力/③トラス
9 3	4/2(日) 4/5(水) 14:00~18:30	【学科Ⅳ(建築施工)】 映像・イラストを通して、現場のイメージができ、覚えやすくなる。 ①工事の流れ、木造住宅の工から完成、施工計画、鉄筋工事/②型枠工事、コンクリート工事/③鉄骨工事、木工事
10 4	4/9(日) 4/12(水) 14:00~18:30	【学科Ⅰ(建築計画)】 頻出項目について、原理・現象、用語の意味が理解できるようになる。 ①気候・空気、熱/②光、音/③空気調和設備

■合格オリエンテーション【ライブ/通学映像】 本試験までの学習の進め方を理解。基礎知識の習得レベルの確認、法規・構造の基礎項目の特訓を行う。

単位	日程(令和5年) 6時間	内容
11 1	4/16(日) 4/19(水) 14:00~20:00	【合格オリエンテーション】 開講ガイダンス / 実力判定テスト / 法規・構造特訓講座

■短期必修学科講座【ライブ/通学映像】

- ・インプット期: 6回・12単位で集中して本試験レベルに対応するインプット学習を行う。1ヶ月間の繰り返し学習とテストでの確認により記憶を定着させていく。
- ・アウトプット期: 本試験レベルの模擬試験・総合模擬試験にて得点力を確認。弱点項目を洗い出し、優先して学習することで効率的に得点力を向上させる。

総合答練講座での科目毎のラストパート問題解答と解説受講によっても基礎の確認と応用力の強化を図る。

単位	日程(令和5年) 9回 76時間	内容 (●各模擬試験を除き、講義科目の順番は、教室により異なります。各教室にご確認下さい。)
インプット期	12 1	9:30~14:30 【学科Ⅱ(建築法規)①】 建築基準法 [用語の定義、確認申請・建築手続、面積・高さ等の算定、敷地等と道路、用途地域]
	13 2	15:00~19:30 【学科Ⅱ(建築法規)②】 建築基準法 [建蔽率、容積率、高さ制限、日影規制]
	14 3	9:30~14:30 【学科Ⅲ(建築構造)①】 構造力学 [力のつり合い、反力、応力] 一般構造 [荷重・外力、構造計画]
	15 4	15:00~19:30 【学科Ⅲ(建築構造)②】 構造力学 [トラス] 一般構造 [地盤・基礎、木造(材料・構造)]
	16 5	9:30~14:30 【学科Ⅱ(建築法規)③】 建築基準法 [耐火・防火、防火地域・準防火地域、防火区画、避難施設等、内装制限]
	17 6	15:00~19:30 【学科Ⅱ(建築法規)④】 建築基準法 [一般構造、構造計算・構造強度、雑則・その他の規定] 関係法令 [建築士法、都市計画法、その他の関係法令]
	18 7	9:30~14:30 【学科Ⅲ(建築構造)③】 構造力学 [断面の性質、座屈、応力度] 一般構造 [鉄筋コンクリート造(材料)]
	19 8	15:00~19:30 【学科Ⅲ(建築構造)④】 一般構造 [鉄筋コンクリート造(構造)、壁構造、鉄骨造(材料・構造)、その他の構造等、その他の建築材料]
	20 9	9:30~14:30 【学科Ⅳ(建築施工)①】 契約、施工計画、管理計画、各部工事 [仮設工事、地盤・土工事・基礎、鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事]
	21 10	15:00~19:30 【学科Ⅳ(建築施工)②】 各部工事 [鉄骨工事、コンクリートブロック工事、木工事、防水工事、左官工事、タイル・石工事、塗装工事、建具・ガラス工事、内装工事、改修工事、設備工事] 施工機械・器具、測量、積算・見積
	22 11	9:30~14:30 【学科Ⅰ(建築計画)①】 計画原論 [気候・空気、熱、光、音、色彩、計画原論用語 単位] 建築設備 [空気調和設備]
	23 12	15:00~19:30 【学科Ⅰ(建築計画)②】 建築設備 [給水設備、排水・衛生設備、電気・照明設備、消火・防災設備、環境・省エネルギー] 計画各論 [住宅建築、商業建築、文化施設、教育施設、医療・福祉施設、各部計画、建築生産、計画各論用語]
アウトプット期	24 13	9:30~20:00 【模擬試験】 学科Ⅰ(建築計画)25問・学科Ⅱ(建築計画)25問(3時間) / 学科Ⅲ(建築構造)25問・学科Ⅳ(建築施工)25問(3時間) 本試験レベルの難易度・解答時間での得点力・合格力の確認 模試結果を踏まえて、直前期に優先して学習するべき項目・内容を明確にして、得点力アップの学習を進める
	25 14	9:30~14:10 【総合答練講座(建築計画・建築法規)】 ラストパート問題解答とまとめ解説 (基礎から応用までの幅広い出題内容)
	26 15	14:55~18:30 【総合答練講座(建築構造・建築施工)】 ラストパート問題解答とまとめ解説 (基礎から応用までの幅広い出題内容)
	27 16	9:30~20:00 【総合模擬試験】 学科Ⅰ(建築計画)25問・学科Ⅱ(建築計画)25問(3時間) / 学科Ⅲ(建築構造)25問・学科Ⅳ(建築施工)25問(3時間) 本試験レベルの難易度・解答時間での得点力・合格力の確認 これまでの学習の成果を確認し、最終調整を図る。学習優先順位を明確にして、残り時間で効率よく学習を進める
		●講義科目の順番は、教室により、異なる場合があります。

7/2(日)	学科本試験(予定)
--------	-----------

●試験制度の変更、講座内容強化などにより、講座日程および学習する内容・カリキュラムについては、変更となる場合があります。

令和5年度 2級建築士設計製図コース

【木造課題対策学習】

- ・ 令和5年度の設計製図合格に向けての木造対策講義（オンデマンド講義）

	月／日	時間	内容
1	12/1スタート		木造対策課題を使用した講義と実習 木造のルール、木造各種図面の基本

【課題発表前】課題発表前に木造住宅の基本と木造図面の基本を徹底学習！

【1月以降実施】

単位	課 題	内 容
特 典	通信課題①② (課題文、ワークブック、解答例、作図ワークシート)	木造住宅課題を2課題実習 ・木造専用住宅の基本を学習 ・実習した課題を通信添削

6月7日 課題発表（予定）

7月2日 学科試験（予定）

【2級建築士設計製図講座】

■本試験課題対策講座 総合

（スタートの段階で）当年度発表用途を切り口に、国（社会）が求めている出題ポイントを押さえる

今まで習得してきた知識（計画・法規・構造・設備・環境）を当年度課題に置き換え、早々にスタート

初期段階からの本試験レベル（以上）課題を実施し、早期に合格レベルに仕上げていく

当年度課題と計画・法規・構造・設備・環境の関係を理解して各種図面を正しく丁寧に描く

単位	日程	時間	内容
1	7/9（日） 7/12（水）	10：00～19：00	当年度課題対策講座① «本試験シミュレーション①» 当年度課題用途に即した「建築計画」と「建築法規」を習得 当年度課題用途の建築計画と建築法規を図面（特に平面図）や計画の要点で表現 オス
2	7/16（日） 7/19（水）	10：00～19：00	当年度課題対策講座② «本試験シミュレーション②» 当年度課題用途に即した「建築構造」を習得 当年度課題用途の建築構造を図面（特に伏図）や計画の要点で表現する
3	7/23（日） 7/26（水）	10：00～19：00	当年度課題対策講座③ «本試験シミュレーション③» 当年度課題用途に即した「建築設備」と「環境負荷低減手法」を習得 当年度課題用途の建築設備と環境負荷関連について図面（矩計図等）や 計画の要点で表現する／当年度課題用途のプランニングトレーニング③

※講座の内容は、カリキュラム強化のために変更する場合がございます。

■本試験課題対策講座 まとめと応用

本試験シミュレーションを繰り返し、総合力（計画・環境・法規・構造）を確認、個々に修正をかける

実務レベルでのプロセスを意識し、課題の読み取り～チェックまでの一連の行動をチェックする事により「ミスをゼロ」にする

ランクⅠ以上の図面を3時間＋プレゼン力のある計画の要点を30分で完成させる

4	7/30（日） 8/2（水）	10：00～19：00	当年度課題対策講座④ «本試験シミュレーション④» 本試験レベル（以上）の課題で、到達度チェック ※全国统一 到達度確認模試 → 計画・法規・構造・設備・環境を踏まえた総合力チェック プランニングのチェック・修正までを習得してエスキス完成①
5	8/6（日） 8/9（水）	10：00～19：00	当年度課題対策講座⑤ «本試験シミュレーション⑤» 本試験レベル（以上）の課題で「ミスをゼロ」にする 今の計画・法規・構造・設備・環境を建築物に反映させた課題② プランニングのチェック・修正までを習得してエスキス完成②
6	8/13（日） 8/16（水）	10：00～20：00	当年度課題実戦講座① 模擬試験 1 «本試験シミュレーション⑥» 本試験レベル（以上）の課題で「合格を確実」にする ※全国统一 模擬試験① → エスキス・作図・要点記述スキルの完全仕上げ 本番試験を見据えた時間管理（様々な要因等に対しても戦略的に対応）

※講座の内容は、カリキュラム強化のために変更する場合がございます。

■本試験課題対策講座 完全合格対策

本試験レベル（以上）の課題で「競争試験」での「合格レベル上位」を確実にする

本試験シミュレーションを繰り返し、あらゆる「ミスを洗い出し」、「ミスをゼロ」にするルーティンを体得する

だれが見ても合格すると判断させる図面・計画の要点を完成させる

7	8/20（日） 8/23（水）	10：00～19：00	当年度課題実戦講座② «本試験シミュレーション⑦» 本試験レベル（以上）の課題で 「競争試験の更なる上位」を目指す 誰が見ても合格すると判断される図面・計画の要点の完成
8	8/27（日） 8/30（水）	10：00～20：00	当年度課題実戦講座③ 模擬試験 2 «本試験シミュレーション⑧» 本試験レベル（以上）の課題で 「競争試験の更なる上位」に到達 ※全国统一 模擬試験② → エスキス・作図・要点記述スキルの最終確認 誰が見ても合格すると判断される図面・計画の要点の完成
9	9/3（日） 9/6（水）	10：00～19：00	当年度課題実戦講座④ «絶対合格に向けた最終確認» 今まで実施してきたシミュレーションの最終確認と、行動レベルでの最終チェック 今までに洗い出されてきた要因の再確認、及び「ミスの最終点検」

※講座の内容は、カリキュラム強化のために変更する場合がございます。

9月10日 設計製図試験(予定)

■試験終了講座

単位	日程	時間	内容
—	9/13（水） 9/17（日）	13：00～19：00	復元図面採点会

注）日程・カリキュラムの詳細については、受講生状況を踏まえ変更する場合がございます。